１０月の園だより

回覧

R8.10.9

令和８年９月30日（水）　羽茂こども園
副園長　吉田　歩



日中と朝夕との寒暖差を大きくなり始め、秋の訪れを肌で感じ取れるようになってきました。戸外遊びが大好きな子ども達にとっては、最高の季節です。虫や植物との出会いを楽しみながら、秋の自然を満喫していきたいと思います。また、寒暖差から体調の変化が出やすい時期です。最近はインフルエンザなどの感染症も時期を問わず流行するようですので、予防に努めながら健康的な生活を心がけていきましょう。



１０月の行事予定

日	曜日	予定	対象クラス
１日	木	サツマイモ掘り JA 佐渡女性部のみなさんと一緒に(予備日…２日)	とき・かわせみ・きじ組
２日	金	布団の手入れ	全園児
９日	金	行事食	全園児
１２日	月	スポーツの日	
１４日	火	３歳児公開保育（教育・保育関係者対象に実施）	
１６日	金	親子遠足（３・４・５歳児）	とき・かわせみ・きじ組
２１日	水	内科検診（１２時３０分～）	全園児
２２日	木	歯科検診（９時３０分～）／ 誕生日給食	全園児 ／ 全園児
２７日	火	食育教室 ／ 就学時健康診断	とき組 ／ とき組
３０日	金	布団の手入れ	全園児

※地震を想定した避難訓練を行います。
※身体測定の日程につきましては、アプリ コドモンのカレンダーよりご確認ください。

11月の主な行事予定…１９日…フロアリズム運動(かわせみ組)、２０日…フロアリズム運動(とき組)

育児相談会

１０月２３日(金)１５時～１６時

この日程以外でも個別でのご相談もお受けいたします。お気軽にお声かけください。



教育実習

下記の日程で、学生が教育実習で来園します。たくさん遊んで楽しみたいと思います。

＜教育実習＞
日程：１０月５日～１０月１９日
新潟青陵大学短期大学部１年生　１名

作品展示について

佐渡市美術展覧会(市展)にとき組の子ども達の絵画作品が展示されます。経験したことをクレヨンや絵の具等を用いて表現する楽しさを味わいながら描き上げた作品ばかりです。ぜひ、ご家族で足を運んでいただき、芸術の秋を楽しんでみてはいかがでしょうか。





＜市展＞　とき組作品展示
日時：１０月１０日(土)～１０月１４日(水)　９時～１９時
場所：佐渡市総合体育館（ヒルトップアリーナ佐渡）
（初日の入場は午後１時から最終日は１３時まで）

保育園留学園児の紹介

９月は２家庭同時に留学園児を迎え入れました。一人ひとりの性格も様々で、子ども達の関わり合いを見ていても、たくさん刺激し合っていることが分かり、嬉しく思います。１０月は初めての２歳児の受け入れもあります。どのような姿が見られるか楽しみです。





・１０月２６日～１０月３０日
５歳児１名
２歳児１名　きょうだい児

お礼

９月２６日(土)の第２回環境整備作業では、お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

かわせみ組・つばめ組・あひる組・ひよこ組の保護者の皆さまのおかげで、園庭や中庭は見違えるほどきれいになり、秋の虫探しなどに夢中になっている子ども達です。２歳児以下の子ども達にとっても戸外で遊びやすい環境になり、生き生きとした様子で自然に親しみながら遊ぶ姿が多く見られます。

本部役員の皆さまをはじめ、ご参加いただいた保護者の皆さま、本当にありがとうございました。









祖父母保育参観・未満児親子遠足

９月は、祖父母の方を迎えての保育参観や未満児クラスの親子遠足を開催いたしました。ご多用のところ、ご参加いただきありがとうございました。この２日間を見ても、保護者の皆さまのたくさんの愛情を受けて子ども達は育っていることを感じ、大変嬉しく思いました。今回のように、これからも子ども達の園生活に保護者の皆さまからご参加いただくことで、子ども達を囲む大人の輪が一層豊かなものとなっていくのではないかと期待が膨らみます。今後も多くの人との関わりを持ち続けて、地域に開けた園づくりを目指していきます。保護者の皆さまと一緒に地域全体で手を取り合い、子どもはもちろん、大人も楽しみながら育ち合っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。















そして、祖父母参観では羽茂市民センターの渡辺保健師さんより保護者の皆さまに『子ども達の生活習慣と自己肯定感』についてお話しいただきました。その中で印象に残っているのが、『一緒に食べる、一緒に生活リズムを整える、なにより「大丈夫だよ」「一緒にやろう」「できたね」と支え、安心できるかかわりが習慣を続ける力になる。何気ない毎日のかかわりが子どもの安心につながる』という内容です。祖父母の皆さまだけでなく、私たち保育者を含む周りの大人全員に通じることだと思います。安心できるというのは、子ども達がのびのびと自己を発揮して成長していくためにはとても大切なことです。私自身も今回のお話を聞き、改めて子ども達との関わり方を見直すきっかけとなりました。

別紙、園長「はもちのほいく」があります。こちらも合わせてご覧ください。

「はもちのほいく」No.6

令和８年９月30日
園長　石木　むつみ

日中は爽やかな風が吹き、散歩にはもってこいの季節になりました。今年は秋の訪れが早いように感じています。過ごしやすい気候の中、少し遠出をして秋の自然を肌で感じたり、身近にある秋の草花や木の実を使って遊びを楽しんだりしている子ども達です。

今年も昨年に引き続き、年長とき組の子ども達が小木の金子牧場に酪農体験に行ってきました。事前に牧場の金子さんとJA佐渡の中原さんよりご来園いただき、牧草のにおいを嗅いだり、牧場の約束を聞いたりしたこともあり、大きな牛にも、生まれたばかりの子牛にも、愛情を持って触れ合っていた子ども達の姿が印象的でした。

このように園から一歩外に足を踏み出し、普段できない経験をすることは、子ども達の心を動かし、豊かな感性を育む貴重な機会であると感じています。

これからも地域のみなさんの力をお借りしながら、子ども達の育ちを支えていきたいと考えます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

今月の１枚





牛を撫でながら「俺たちもう友だちになったんだ！」と嬉しそう！



獣医さんから聴診器を付けてもらい、自分の心音を聞いた後、生まれて間もない子牛の心音を聞きました。牛の心音の大きさに「わあ！」と思わず声をあげる人も。



金ブラシでブラッシングをすると「なんか硬くて痛いんじゃない？」と子牛を心配する優しい言葉もありました。

関わり合いの中で育まれるもの

羽茂こども園では、ほとんどの園児が隣接している羽茂小学校へ就学します。折に触れ、この「はもちのほいく」や園だよりなどで、羽茂小学校との連携についてお知らせしていますが、今月号では、小学生と園児との自然な関わりが、心を動かし、新しい遊びや生活に繋がっていく様子についてお伝えします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

夏休みの作品展示見学から…







いろいろな作品に興味を持つ子ども達

９月に入り、羽茂小学校児童の夏休み作品展示が開催されていました。せっかくの機会です。是非みんなで観に行ってみようと保育者が提案すると、「どんな作品があるかな？」「お兄ちゃん、家で〇〇作ってたから、きっと飾ってあると思う！」など、子ども達はロ々に話しながら小学校へ向かいました。

作品展示場での子ども達は、１年生から６年生まで児童の力作を私たちの予想以上にじっくりと見ていました。海で拾ったごみを集めた作品に「これ、ほんとにごみで出来てるの？」など、作り方や材料に興味を持って友だち同士話し合ったりする姿もありました。



「きれいな花火！どうやって描いたのかな？」　筆で描いた作品ではないことに気付いていました。

５歳児とき組は見学から帰った後のサークルタイムで、子ども達の中から印象残った作品についていろいろな意見が出たのですが、その中で１年生の作品の中にあった「花火」の描き方に興味を持った子ども達から、「どうやって描いたのか、描き方を聞いて自分たちもやってみたい」という声が上がりました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

そして、次の日。

描き方を確かめるべく、もう一度小学校へ。

作者に質問する子ども達

１年生の休み時間を待ち、作者へ質問しました。



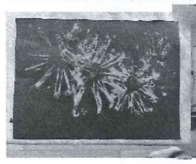
突然の訪問に少し驚いた様子でしたが、トイレットペーパーの芯を使って作ったことを教えてもらうことができました。園に帰り早速チャレンジです。





急な訪問も快く受けてくれた１年生、羽茂小学校の先生方、本当にありがとうございました。

「すごい！本物の花火みたい」とつぶやきながら、トイレットペーパーの芯に絵の具を付けスタンプしたり、指を使って線や色を重ね、自分たちの工夫も取り入れたりしながら、花火を表現することを楽しむ子ども達でした。





出来上がった花火はお部屋に飾りました。色とりどりの花火があり、まるで小木祭りの花火のようです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「おけさ柿音頭」にあこがれて…

９月16日には、羽茂小学校３年生が「おけさ柿音頭」を披露しに来園しました。３年生の来園を知らせると、次々に遊戯室に子ども達が集まってきました。

３年生がおけさ柿音頭を披露した後、「踊りたい人は一緒に踊りましょう」の言葉に、恥ずかしそうにしながらも、踊りの輪の中に入っていく子ども達。マンツーマンで教えてもらったり、グループで教えてもらったりしている内に気持ちもほどけ、自然に言葉を交わしたり、踊ることを楽しんだりする姿がありました。

踊りを楽しむ子ども達





空き箱などを使って作ったうちわを持ち、披露する３年生を見ながら、見よう見まねで踊る人も！





教えてもらった後は自信を持って踊る子ども達。中にはオリジナルの振り付けを取り入れて自由に踊る人もいて、和やかな時間が流れていました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

このように、羽茂小学校の児童との関わりが、行事だけにとどまらず、普段の生活の中で行われている事に大きな意味があると考えています。作品見学をした後、もう一度小学校に出向いて作り方を聞き、実際に自分たちでやってみる子ども達の姿を、担任は当日の「活動の記録」の中で、

作品を見て「すごいね」で終わるのではなく、「どうやって作ったんだろう？」と疑問を持ち、自分たちで確かめ、さらに「やってみよう！」と遊びに繋がる姿が見られました。

と書いていました。

日頃から羽茂小学校と行き来し関わる中で、小学校は特別なところではなく、自分たちの身近な場所・人であり、自然と「真似してみたい」「年上の友だちのようになりたい」と思う気持ちが芽生えているようです。これは、羽茂こども園単独でできることではなく、羽茂小学校側の理解や、受け入れの態勢が整っていることが深く関わっているからであり、このような環境の当園は、とても恵まれていると感じています。

羽茂こども園では、子ども達のこのような姿を大切にして、羽茂小学校との連携をこれからも深めていきたいと考えています。